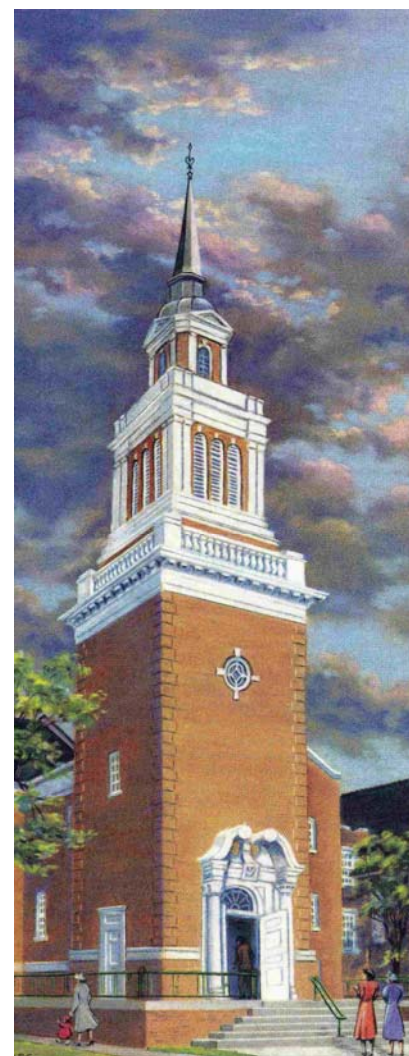


感謝録

荒井 久和子姉	不破 満雄兄	加納 幸子姉
小坂 るみ姉	三縄 博兄	三縄 都美子姉
坂田 淑姉	下竹 博兄	下竹 祐三郎兄
武井 里花姉	Scroggins 由紀牧師	吉田 望姉

記事: 消息

- * 一昨年10月に日本へ帰られた吉田望姉が2年ぶりでシカゴへ来られ再会の喜びを語り合いました。吉田姉は、今回は8月までシカゴに滞在の予定だそうです。
- * 5月25日(土) 3:00 pm Kraft Chapel
"A Thanksgiving Service in Memory of Insoon Fuwa"
このサービスは、さる1月15日に昇天された不破仁順姉を偲び、神に感謝をささげるものです。サービスに引き続き、レセプションがありますので、皆さんが残られるようお勧めします。
- * 過ぎにし聖日(5月19日)
 - 一 合同礼拝: この礼拝で、スペイン語部から、Mayra Moreno, Silvia Negron, Emily Guterrez の三人の方々が洗礼を受けられました。聖書は、ペンテコステの日に、皆のものに御聖霊が降った箇所、使徒行伝2章1-4節が4ヶ国語読まれました。また音楽も、各国語部から歌われ、演奏されましたが、中でも Chancel Choir による合唱、"I'm Gonna Sing 'til the Spirit Moves in My Heart" Arr. Moses Hogan がすばらしいものでした。ハリス牧師の説教は "What Language Does God Speak?" (使徒行伝2章1-4節) からでした。ペンテコステの日、皆の上に御聖霊が降り、それぞれが自分の力では話すことの出来ない異言を語り始め、遠くから来ていた人々も自分たちの言葉で神の御言葉を聞くことが出来ました。日本語部とカレン語部、英語部が、お互いに譲り合ってキッチンを使ったことを例に、言葉や風習の違いにかかわらず、御聖霊により教会が一つになるすばらしさについて考えました。
 - 一 年次総会では、財政報告、役員改選などがあり、会堂改築のための寄付も順調に進んでいることがハリス牧師から説明されました。Faithful Servant は、50年以上にわたり、教会のために尽くして来られた Ramona Welker 姉が表彰されました。また、Laura Harris-Adam 姉が召命に至った話をされ、彼女は現在 Ordination に向かって準備をされています。教会の過去から現在に至るさまざまな出来事や、人々を写真に撮ったスライド・ショーは、歴史を目で見ることが出来て、大変興味深いものでした。



週報

第3435号
2013年 5月 26日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Congregation

発行: 2013年 5月 21日 ノースショア・バプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
Tel: 773-728-4200 Ext.26 Email: yscroggins@northshorebaptist.org

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Tel: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org

憩いの場

“口のきよめ”

この時セラピムのひとりが火ばしを持って、祭壇の上から取った燃えている炭を手に携え、わたしのところに飛んできて、わたしの口に触れて言った。“見よ、これがあなたのくちびるに触れたので、あなたの悪は除かれ、あなたの罪はゆるされた。（イザヤ書6章6-7節）

英語には日本語にないような悪態をつくときのボキャブラリーがかなりあり、あらゆるメディアを通して、また人間関係を通して、この世にはびこっていて注意しないと影響されます。先日もつい、女性にあるまじき言葉を使ってしまい、御前に悔い改めました。自分のポイントをつく言い方をするために、悪い言葉を使う必要はなかったのです。そのときに以前ネットで見かけた“わたしたちのこの口は“というゴスペルソングを思い出しました。”わたしたちのこの口は汚れているけど、どうか主がこれをきよめて賛美を授けてください、、、主の栄光だけが光り輝くように”という歌詞が、心に響きました。

イザヤ書のなかで、主に召された預言者イザヤは自分や彼の民の唇が穢れている事を告白しましたが、彼は主のみ言葉を語る資格がないと自覚していたのです。すると天使が燃えている炭を手に取り、彼の口に触れ、罪が赦されたと宣言しました。私たちの口も主の御手によってきよめられなければ、ヤコブ書にあるように、賛美とのろいが同じ口から出ることになってしまいます。それは、人に聞かれてもそうでなくても関係ないのです。人の悪口や汚い言葉を出した口は、賛美の前にはきよめられなければ主に喜ばれません。どうか私たちの口が日々、悔い改めによりきよめられますように、そして主の栄光だけが賛美を通して光り輝きますようにお祈りします。（スクロギンズ由紀）

日曜日礼拝順序
(Trinity Sunday)

2013年 5月 26日 午前11時 南部チャペル

前奏		武井 里花姉
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
交読文	3 詩篇 8篇	
賛美歌	2 “いざやともに こえうちあげて”	
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		下竹 博兄
	使徒行伝 2章 17-21節	
賛美歌	162 “あまつみつかいよ、イエスの御名の”	
説教		Scroggins 由紀牧師
	「預言の成就」	
賛美歌	403 “かみによりて いつくしめる”	
献金		下竹 由美子姉
報告		
頌栄	541	
祝祷		Scroggins 由紀牧師
後奏		武井 里花姉

(礼拝終了:奉仕開始)

祈禱・聖書学習会 午前9時45分 109号室
指導: Scroggins 由紀牧師
ローマ人への手紙 10章

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

今週の聖句

箴言使徒行伝 8章 1-4, 22-31節 詩篇 9篇
ローマ人への手紙 5章 1-5節
ヨハネによる福音書 16章 12-15節